

## ～「なにか」シートの回答～（参加者の声）

ふる里の水源地を守り、次世代に豊かな水環境を残していくための「なにか」を見付け、新たな仲間との連携や知恵を持ち帰ることができる、意義のある場にしたいと思います。

あなたにとっての「なにか」とは……

これだ BOX へ……

.....

### ～ 感想 ～

個人的で身勝手な言い分(感想)を、まず活動するためには多くの人が必要！

人を集めるためには…… 1、なにか記念になること 2、なにか有益になること、多少甘い汁が無いと人は集まらないのではないかと……結論ないですが、今後の活動の中で考えます。

夏休みに60人ぐらい集めて17年間カッパ学校をやっています。川を中心にやっているわけですが子供達に今自分たちがやっている事を引き継がせるためにも頑張りたい。

今みんなのやっている事を引き継ぎ2代、3代と引き継ぐための事！必要。

山間部の犬の放し飼いについて……樫木地区では今も、放し飼いの犬を山中で見ることがありますが、人に害を与える事も無いが、アナグマ・コジケイ等が五家乃荘の山には極めて少なく、地上性の動物が無くなる事を心配しています。

「誰かがやってくれる」では何も変わらない。自分が出来る「何か」を探すことから始める事が大切。

市房山にいだかれて、水の恵みを感じるなぁ～ 上下流交流、流域交流、人間交流最高！

小川龍一氏のお話の山の生態をよく知る事の大切さを強く感じ「ゆび」指導有難うございました。

やさしく親切にお話していただきました。有難うございました。たくさんの方々と有意義な時間を共有出来ました事、感謝です。

情報の交流、人の交流をこれまで以上に大切にして、山、川、海、故郷に思いを持つ人づくりを進めていくことが大事だと思います。

やっぱり鹿の増え方、被害は住民の方には大変な問題です。オオカミでもいればいいのですが？

昔の人の知恵は素晴らしいと思います。前田先生が言われたようにペットにもなり番犬にもなり、猟犬にもなるので、一軒に必ず一匹はいました。私達もこのことはよく話します。山に住みながら繋がれ自由に動けず獲物がきても捕ることが出来ない犬もストレスがたまりかえって人に噛み付いたりすると思います。縛られるようになってから確かに猪や鹿は増えたと思います。自由に狩が出来るように犬を放し飼いに出来たらと思います。

あさぎり町に住んでいます。普段から環境問題には関心があり自分に出来る事はやっております。

ゴミの分別、リサイクル、ゴミ減量、マイバックなど。今日ここに参加した事で更に意識が高まったように思います。良かったです。球磨川で泳いで育った年代です。もう一度泳げる川になるよう願うと共に出来る事は協力しなくては、と思いました。

森の勉強(木に関して)を始めている。水を育む事が大切なように感じている。

森づくりの活動を行って、今日話し合った川や海への始点となる、豊かな山づくりにたずさわっていききたい。

山のこと川のこと海のことについて知らなかったこと、知っておかなければならない事がいっぱいあるという事を痛感しています。ちゃんと開催時から参加して聞くべきだったと！と、後悔しきり(……遅

れてきたので)それから、林業の方の言葉が後半では100%理解出来ず、これもびっくりでした。  
大切な故郷のこと、いっしょに考えていきたいです。

鹿肉の加工品を食べた事がなかったが、今日鹿のソーセージを食べてみて驚きました。  
美味しく食べられることをもっと世間にアピールしていく事で鹿を処分する事にも理解が得られるのではないかと思いました。

MRPの話は興味を持ちました。一人一人がそれぞれみんなに誘われるマイリバーを持てるようにみんなで頑張っていく事が大切だと感じました。一人一人の思いは小さくても皆で集まれば大きな力になると信じています。

犬の放し飼いが山間部では、大変良いという話はなるほど・・・と思いました。MRP、マイパワーがラフティングにも用いられている、みんなが色々な所でMRPを持ちあってすすむぞ。

人間のおおちゃくさに山々の神様がバチをあててほしい。

お互いを認めあって仲良くして「なにか」を生み出せたらうれしいナァ～

今回のサミットの中で木の大切さ、木の役割がどれだけ川に影響を与えているかがわかった。海を昔に返すことも大切だと感じた。

水源地を守るというとき、山・川・海、関係者とそれぞれの団体の活動紹介は素晴らしかった。私も植林、植樹という時、食物連鎖と関連して「鹿を食べて・・・」の活動もユニーク。球磨川のとなりの川内川でも何が出来るか考えてみたい。

MRPという言葉の発想が良かった。

人と人との繋がり合いは、自然にやさしくなる、原点があるようです。今日の半日の短い時間に心と心のつながりを実感しました。この地球を生きているすべてに感謝する「心」を改めて感じました。私の何かは人と人とのつながり、心の繋がりです。この様な会議はとても楽しいです。

私達はダム湖周辺の荒地、竹やぶに植林したくて福岡、熊本の企業局、海、川の漁協流域の住民、あとダムの水の利用者に協力いただいて、植林が出来ました、3回程。今年は解りませんが、私は林業がなりわいでやっています。周りのみなさんの理解の高さに感謝します。

いい川とは、どういうものか、みなさんと話し合いたいものです。

おいしい水の飲める水環境を目指したいと思っています。今日は勇気をいただきました。

## ～ 連携と調和～ （知ってもらおうこと）

水源の森、子ども達とあそぼう。夢のある森づくり。

子ども達に川遊びを教える。水を守るにはまず、水と友達になる事から。

山村と中間地域と下流の代表によるサミットを企画してほしい。それぞれの立場を理解し、何故、どうして、の討論会の実施は意味があるあると思う。 お疲れさまでした。

木を植えよう。自分に出きるところから、自分の庭に、実家に・・・身近な所から始める森づくりを一人一人が始めてみよう。どんぐり一粒の大きさを感じてみよう。

実のなる木を植えて、孫まで残そう、自然の山。

川に関心を持ってくれる人を創る。(若いエネルギーを注入) 高校生との交流で、行動力ある人材発掘。

地道なこともかもしれませんが山や森、川、海に目を向けてもらう為にもその素晴らしさ、宝物を思い出してもらおう(DNAレベルではしっかり身に付いていると思う)ことが大切と思う。私はその1つの手段として「森や川で癒される」体験を多くのひと提供できるイベント・

しくみを作りたい！です。

林間学校の再開 ふるさとづくり 癒される 体験（ドイツでは行なわれている）

万江川マイリバーに学ぶ、小さな支流でも、その流域にその川を愛する人たちが沢山いたら川は美しくなります。球磨川の80余本の支流に「MRP」の種まき、どうやって？（支流それぞれの源流水リレーをやるか？）

すべての支流の「MRP」が育てば球磨川はもっと美しく豊かになります。八代海もきっと昔の豊かさを取り戻すでしょう。（MRP＝マイリバーパワー）

「メモリアルツリーを植える習慣」を日本中に広げる。お寺、教会、神社・・・etcに働きかける。「生きた証」として「子孫のために」木を植える土地代と植える費用、管理する費用を出してもらい、山の人たちの職業の一つにする。経営的変動に関わらず「切らない森」「自然更新の森」として流域のコアな役割が果せる山を育てられたらと思います。

永代供養 植える場所 1%の応援を・・・

## ～自然との考え方～

自然（環境）は子ども達からのあずかりもの。永く保つことが大事と教え伝えること。

人間は自然が無ければ人間らしく生きられない。

山・川・海自然に対する感謝の気持ちを一人一人が持つこと、たくさんの恩恵を受けている事は当たり前ではない。感謝の気持ちを持つ事で、一人一人が少しずつでも自然を守る事に繋がるのでは？それが大きな力になると思う。

球磨川水源を考える時、特に森を守り、森を育てる事を第一に取り組む事が大切だと思います。友！

山、川、海との水の流れの中で、中間的に産業水としての理用水の排水、特に農業用水家庭用水等の対策等の問題点なども必要ではないでしょうか。

人吉・八代にて2年余りを過ごし、今は福岡市内で暮らしています。娘の病院や買い物など確かに便利になったと思う一方、どこか物足りないのが現実です。幼い頃から山野・池で毎日、虫を追いかけた自分にとって、草は生えていても、それが虫や鳥など生態系となって繋がっておらず、面白みが無いのです。娘を連れて、網を持って出かけても何も得られないこともしばしば。この年になって“つながり”という言葉の重みを痛感する次第です。

生物や水、土砂のつながり、まだまだ解らないこと多いけど、大切だということが解ってきているのも事実です。そこに人や、その人の思いが繋がり、ふる里の川が形成されものと考えています。“つながり”が再生され、流域がイキイキすることと・・・・・・・・・・・・・・・・

人が何か一つでも手を加えると、山 川 海の循環が崩れ始め、いろいろなところが変化してしまうように思います。そして元に戻すことはとても大変で、元に戻らないものもあると思います。

山、川、海に何か手を加える必要がある時は、とにかく慎重にすべきで、手を加えた後もこまめに状況を見ていく事が大切であると、今日のシンポジウムの中で痛感しました。

川や森林、海の再生のため、良かれと思ってやった事も、実はマイナスになることもあると思います。色々な人たちの話を聞いて、色々な予測をしてから進んでいき、その後もこまめに状況を見ていくべきだと思います。

## ～活動・提案～

山を買って木を植えたい。

流域の児童全員が源流を探索する機会を作ることが必須課題とするような教育対策がとりたいたいですね。そのことがMRPの成育・目覚めのきっかけとなるはず。現在は特定の人だけではないでしょうか。

良い環境を残すために！！山の森からの贈り物として、水、きれいな空気、材木をもらえるためには営林行政に対して水1m<sup>3</sup>当たり1円の税金を付けて営林署が100年200年後を見据えた営林行政が出来るようにしたい。

毎年カヌー仲間、川辺川の清掃を行なっているが、地元の参加が少なくメンバーも拡がりを感じられない。更に多くの参加者の輪を拡げるために、ラフティングカンパニーにも呼びかけリピーター・ガイド連中を取り込む。そしてどんぐりプラットホームを紹介し、運動を広げてもらう。夜にはシカ肉で焼酎の呑み方！！

## ～メディアを利用せよ！～SNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)

山村部では犬の放し飼いを禁止するどころか、むしろ奨励していただきたい。犬の本能として、野生の動物を追う特性を持っているため、大きな経費を伴うことなく、駆除が出来る。とっても、単純なことですみません。まず、自分が山や川(出来れば水源)に出かけて楽しみを見つけることです。そして家族や仲間を誘うこと、実体験があると伝えたいこと、やりたい事にも、パワーが入るんじゃないでしょうか。

## ～みんなの決意～

幼児への環境教育プログラム(体験学習)(場づくり)

子供達に、川や森そして自然の素晴らしさを教えられるように、まずは自分で川や森そして自然を今まで以上に体感していく努力をしようと思います。

自ら学びながらネットワークをつくり、「いやし」のプログラムを作り実行に移していく！！  
地域の子供達と自然に触れ合う事を多く作る。

良い木を育てないといふ家は建てられません、その為には緑の消費者に関心を持ってもらえる活動をやっていきます。

親を学ぶ

仲間と共に考え抜いて具体的な動きを作り出したい。水を育む森を生み出すために。

MRPの種まき、球磨川の支流のほとりに暮らす人達と共に、その支流の源流を探し、そこに源流の碑を建て「川源流の森」づくり。それから源流水リレーだ。

里山づくりをしています。今日の話の中で、どんぐりを植えてきのこ栽培、また近くの川で水遊び、流木遊びを楽しみませんか？

夢は叶うもの強く、強く、強く、思えば・・・

仕事・水際をやわらかくして、とにかく人を川に引っ張る(来たくなるように)

親・森～海、子どもを引っ張り回し五感全てを養う。

家族と山あそびを続けます。

「海」「川」「森」を育む子どもから大人までの仕組みを創るぞ！！

つなぐ役割として今活動している「人吉・球磨環境協議会」に頑張ります。人吉・球磨でこ

んな会議をやりたいです。

森の赤ちゃんを世の中に生み出す、森の助産師になります。育った実生の苗木を、ふる里に還してください。

学童クラブでの森と水でのプログラムの確立。

山に子ども達を連れて行き（登山）森の不思議さ、偉大さ、楽しさ、を教えたい。  
山を走り回る。

今回のサミットで知った海・川・山の問題を、広く知ってもらう方法を考えたい。

「継続」 ・第1回3つの提言・第3回へ繋いでいく

水源の森トラストの手法

木が使える・売れるシステム

子ども達を水源に連れて行き知ってもらう。

行政・森林組合・民間 もっと話し合い、森・山一体に連結、強く山持主に伝えること。各  
部々のサークルもやりやすい。

メモリアルツリー用地探し（団地）・誕生、記念造林

楽しくね

山から学ぶことは山ほどあって水（自）らの絆を紡いでいく。